

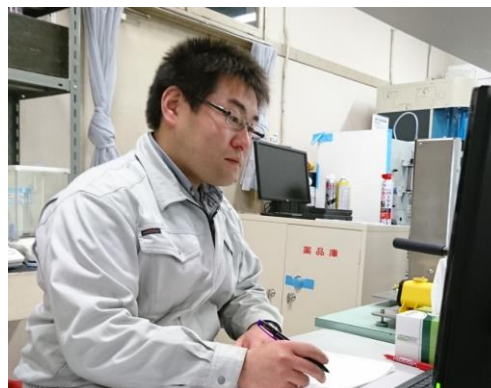
在校生ファイル No.005

氏名

七尾 純平

学年・所属

国際資源学研究科
資源開発環境学専攻 博士前期課程 2年
エネルギー資源工学研究室



国際資源学部を薦める理由

現在、レアメタルなどの金属資源や、石油天然ガスなどのエネルギー資源は日常生活をする上で必要不可欠なものとなっています。日本は資源の埋蔵量が少ないため、資源業界で働く現場は海外がメインです。国際資源学部では、資源開発の基礎を学ぶとともに世界で活躍する人材を育成するため、ほとんどの講義は英語で行われています。3年次には海外資源フィールドワークがあり、世界の資源開発の現場を体験することができます。

研究内容

私は石油貯留層の岩石コアを用いて、浸透率及び孔隙率といった岩石特性の測定や、石油増進回収法に関する研究を行っています。石油増進回収法とは既存の油田を対象として、地下に取り残された石油をさらに回収する技術です。現在、在来型油田の発見が減少しており、既存油田を対象とした石油増進回収法の担う役割は非常に重要となっています。

将来の希望

将来は日本の鉱業を支える火薬メーカーに就職したいと考えています。トンネル掘削や石灰石の採掘には産業爆薬を用いた発破が欠かせません。日本の鉱業・社会インフラを支えることができるような人材になりたいと考えています。

オフタイムにしていること

大学内で鍛冶屋をしています。日本刀の材料として知られる玉鋼を「たたら製鉄」で作り、それを利用した刃物の製作なども行っています。また、大学OBの極地冒険家の支援として、64チタンを鍛造してナイフを作り、実際にカナダ・グリーンランド北極圏で使用していただきました。